

生徒のみなさんへ いじめ防止について

前回の学校だより(11月9日号)には紙面の都合で載せられませんが、11月は「三重県いじめ防止強化月間」でした。今、生徒昇降口にピンクのぼりが立っています。そこには、「気づいてる？ 見てみぬふりもいじめだよ」と書かれています。この標語は、四日市市内の小中学生から応募された中の中学校部門の最優秀賞作品です。

また、のぼりの色が“ピンク色”なのはなぜか？ これは、2007年にカナダで誕生した「ピンクシャツ運動」にちなんでいます。この運動は「いじめ反対運動」として今や世界中に広がっています。実は1年前に私から全校集会でお話しましたが、2、3年生の皆さんは覚えているでしょうか。今一度、このことを伝えたいと思います。



【ピンクシャツ運動】

舞台はカナダのハイスクールです。ある登校日に9年生の男子生徒（日本では中学3年生）が、ピンク色のシャツを着て登校したことをからかわれ、さらに暴行を受け、耐えきれずに帰宅してしまいました。

それを聞いた12年生（日本では高校3年生）の男子生徒2人が、いじめに反対するために何か行動しようと考えました。その日の放課後、2人はディスカウントショップへ行き、ピンクのシャツを大量に買い込み、その夜、クラスメートたちにメール等で、明日、一緒に学校でピンクシャツを着ようと呼びかけました。

翌朝、2人が校門でピンクシャツを配り始めると、思いもよらない光景が目に見えました。それは、すでにピンクシャツを着た生徒たちが次々と登校してくる姿でした。ピンクシャツを用意できなかった生徒は、リボンなど、ピンク色の小物を身につけて登校してきました。

2人の気持ちは一夜のうちに広まり、2人が呼びかけた人数よりはるかに多くの生徒たちが、ピンクシャツやピンク色のものを身につけて登校したことで、その日、学校はピンク色に染まったそうです。

数日後、いじめられた生徒はピンク色のポロシャツを再び着て登校してきました。この行動がきっかけとなり、現在カナダでは毎年2月の最終水曜日を「ピンクシャツデー」とし、賛同者がピンクシャツを着て「いじめ反対」のメッセージを送っています。

いじめは決して許されるものではありません。大池中の生徒全員が「学校からいじめをなくす！」ことを強く心に誓ってほしいと思います。

【裏面もご覧ください】

キャリア学習（2年生）「プロに聴く」 11月24日（火）

2年生の進路学習として、11月20日に三重県立総合医療センター看護部の坂倉小夜子さんに講演していただきましたが、今回は水沢のマルシゲ清水製茶「かぶせ茶カフェ」の清水加奈さんをお招きしてご講演いただきました。



清水さんは“かぶせ茶”の知名度を高めるために様々な工夫をしておられ、例えば他の業種の方とコラボした活動もしてみえるとのことでした。

また、茶農家（農業）の魅力と厳しさにも触れられました。

【魅力】①子育てしながら仕事をする姿を子どもに見せることができる。

②労働時間を自分で決められる。

③がんばり方で収入が増える。

【厳しさ】①農繁期はすごく忙しく、家族総出で作業にあたる。

②確実な定休日がない。

③市場価格に左右される。

良くも悪くも自分次第とのこと。最後に2年生へのメッセージでしめくくられました。

これからの生き方は自分で選ぶことができる。

- ・どんな経験も無駄にはならない。
- ・視野は広く、刺激を受けて
- ・みんなと違ってOK。個性を大切に



学校と家庭とのオンライン接続テストの実施について（お願い）

先日は事前調査にご協力いただき、ありがとうございました。さて、3年生には11月24日付文書でお知らせしましたが、次のとおり各学年で接続テストを実施いたします。

1年生 12月21日（月） 16：00～

2年生 12月14日（月） 16：00～

3年生 11月27日（金） 14：00～

※それぞれの生徒に20分の時間を割り振っており、その時間に接続します。



これは新型コロナウイルス感染症によって学級閉鎖などになった場合に備え、オンライン（テレビ会議システムZoom）による学校と各家庭を接続するためのテストであり、市教育委員会の指示を受けて行っているものです。各ご家庭にご協力いただくこともあるかと思っております。よろしくお願いいたします。